

政策分析シート（平成21年度）

政策名	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進	政策No	15	部名	総務企画部		
関連部名	管理部・区民生活部	部長名	北川 嘉昭	内線	2100		
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[]					
目的	目標の設定により成果を重視した戦略的な行政運営に取り組むとともに、行政改革の推進や事務事業の再点検により、財政の健全化に取り組み、安定的な財政運営を推進する。 また、更に質の高い行政サービスを提供するため、人材育成に努める。						
指標	政策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		18年度	19年度	20年度	21年度	目標値 (28年度)	
	行政評価分析シートの公開率	100%	100%	100%	100%	100%	
	経常収支比率	75.5%	76.9%	75.5%		75.0%	経常経費充当一般財源 / 経常一般財源総額 × 100
	区民税徴収率（現年課税分）	96.88%	96.26%	94.92%		98.00%	収入額 / 現年調定額 × 100
現状と課題（指標分析）	<p>これまで全区をあげて行政改革の推進や事務事業の再点検・再構築に積極的に取り組み、見直しや改善を行ってきた。今後は、指標に掲げた目標値と指標に対する進捗状況の分析・評価を行い、更に見直し・改善することが求められている。</p> <p>財政面では、17年度予算以降、3年連続で財政調整基金の取崩し等の特別な財源対策をとらずに、収支均衡型の予算を編成することができた。平成20年末からの不況を要因とした税収の減少並びに財政調整基金の減少等、新たな課題も見据えつつ、更に効率的な財政運営を行っていくとともに、税収の安定的な確保に向けて徴収率の向上を図り、滞納の整理について強化して取り組む必要がある。</p> <p>区で働くことに誇りを持ち、区政活性化の原動力である高い意欲を持つ職員を創出し、持続的に向上させていくよう、より戦略的な人事政策を展開していく必要がある。</p>						
今後の方向性	<p>《今までの成果及び指標分析を踏まえて》</p> <p>行政評価システム及び行革に関するプラン等により、区民サービスに的確に対応した行政サービスを提供する簡素で効率的な区政運営を実現する。</p> <p>景気に左右されにくい強固で弾力的な財政基盤の構築を図っていく。</p> <p>人事考課制度の効率的な運用に努めていくとともに、荒川区職員ビジネスカレッジなど、職員が自発的に受講する研修についての一層の拡充を図る。</p> <p>情報システムについては、今後とも低コストで使いやすい環境の整備と機能の充実を図り、業務効率の向上に努める。</p>						

政策を構成する施策の分類			
施策名	政策推進のための分類		分類についての説明・意見等
	前年度設定	今年度設定	
戦略的な政策形成と行政改革の推進[15-01]	重点的に推進	重点的に推進	常に政策・施策・事務事業の見直し・改善を行い、区民ニーズに対応した行政サービスを提供する。
効率的な財政運営[15-02]	重点的に推進	重点的に推進	引き続き簡素で効率的な財政運営と中長期的な視点に立った計画的な運用を行う。
税収の安定的な確保[15-03]	重点的に推進	重点的に推進	自らの財源確保に責任をもつ自治体として、さらに強固な徴収体制を構築する。
総合的な人事制度の確立[15-04]	重点的に推進	重点的に推進	効率的で、実効性の高い組織体制の確立は、今後の区政推進の基盤として重要である。
職員研修等の充実[15-05]	重点的に推進	重点的に推進	活力ある少数精鋭の組織としていくためには、その構成員たる一人一人の職員の能力向上が必要である。
総合的な情報システムの確立[15-06]	推進	推進	区民の利便性の向上や業務の効率化のため、情報システムの活用を推進していく。
区有財産の適正な管理・保全[15-07]	継続	継続	経済的かつ効果的に利用されるよう、維持管理していく。